

第52回近畿地区国立大学体育大会（陸上競技）実施要項

〔1〕競技日程 平成26年8月13日（水）

〔2〕競技会場 西京極総合運動公園 陸上競技場兼球技場
（京都府京都市右京区西京極新明町 Tel：075-315-4561）

〔3〕種目

男子：100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 5000m, 110mH, 400mH, 3000m障害,
100m+200m+300m+400mリレー, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 砲丸投,
円盤投, ハンマー投, やり投

女子：100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 100mH, 4×100mリレー, 走高跳, 走幅跳,
砲丸投, 円盤投, やり投

〔4〕後援 関西学生陸上競技連盟

〔5〕運営協力 京都陸上競技協会

〔6〕実施要項

1. 参加申込

締切期日 平成26年6月20日（金）必着

申込み先 大会事務局 京都工芸繊維大学 学生サービス課 学生生活係
〒606-8585 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 1
(Tel:075-724-7144 E-mail:tani_ta@jim.kit.ac.jp)

参加資格

（ア）本大会規程第13条適用，参加選手は事前に日本学生陸上競技連盟に登録すること。

（イ）選手は医師の診断により大会参加が適当と認められた者で，当該大学長の承認のある者に限る。

参加制限

（ア）1種目につき1大学3名以内（ただし，リレーは除く。）

（イ）1人3種目以内（ただし，リレーは除く。）

（ウ）リレーは1大学1チームとする。

申込方法

（ア）所定の方法（参加申込み）により提出すること。

（イ）リレーは4～6名連記のこと。

2. 競技方法

競技方法

得点累加法による団体競技とする。

得点

1位8点，2位7点，3位6点，4位5点，5位4点，6位3点，7位2点，8位1点，ボーナス得点（日本新30点，日本タイ25点，日本学生新20点，日本学生タイ15点，関西学生新10点，関西学生タイ7点，大会新5点，大会タイ2点）ただし，ボーナス得点は予選・決勝を通じて1回のみ与えられるものとする。

順位決定

総合得点法により団体順位を決定する。ただし，同点の場合は1位の種目数の多い大学を上位とする。それでも順位決定できない場合は，2位の種目数で決定する。

なお、決定しない場合は3位の種目数で決定する。いずれの段階でも決定できない場合は抽選により決定する。

競技規則

2014年日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項による。

審判

京都陸上競技協会に委嘱する。

3. 表彰

3位までとする。

4. 大会記録

大会新記録及びタイ記録は、手動時計、電気計時を問わず、プログラム記載の大会記録よりもそれぞれ良いか、あるいはそれと同じであることを条件とする。

5. その他

- (1) 事前に代表者会議を行う。
- (2) ナンバーカードは、各自、関西学生陸上競技連盟のものを用いること。
- (3) 棒高跳用ポール及びやりの他は競技場備え付けのものを使用すること。
- (4) 棒高跳用ポール及びやりを出場者個人で持参する場合は、検定・承認を受けてから使用すること。
- (5) 参加大学は審判員を出すこと。

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2014年日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 競技場について

- ① 競技者以外は、競技場のトラック及びフィールド内に立ち入ってはならない。
- ② 円盤投・ハンマー投は補助競技場で競技を行う。

3. 練習について

招集完了後の投てき練習については、役員の指示に従って行う。

4. 招集について

- ① 招集場は、メインスタンド下雨天練習場内に設置する。
- ② 競技者は出場種目の招集完了時刻までに、係員の点呼を受けること。その際、ナンバーカード・スパイクピンの長さ等(走高跳・やり投 12mm 以下、その他 9mm 以下)・商標等の点検を受け、腰ナンバーを受け取る。
- ③ 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上を同時に出場する競技者は、あらかじめ本人がその旨を競技者係に申し出ること。その場合のみ、点呼の代理を認める。
- ④ 招集時刻は下記のとおりとし、招集に遅れた競技者は棄権とみなす。

区 分	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始時刻の 40 分前	競技開始時刻の 30 分前
フィールド競技	競技開始時刻の 50 分前	競技開始時刻の 40 分前
棒 高 跳	競技開始時刻の 70 分前	競技開始時刻の 60 分前

- ⑤ リレーオーダー用紙は、競技開始1時間30分前に競技者係に提出すること。
(リレーオーダー用紙は招集場に用意する。)

5. 走路及び試技順とその番組編成について

- ① トラック競技予選の走路順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。決勝については、本部において抽選する。
- ② トラック競技の予選種目において、招集完了後に出場者が8名又は8チーム以下の場合、予選を省略し、決勝の時間に行う。

6. バーの上げ方及びその記録の公認について

- ① バーの上げ方は、下記のとおりとする。

男子走高跳	練習 155 cm	160, 165, 170, 175, 180, 185, 190 cm 以後は 3cm ずつ
女子走高跳	// 120 cm	125, 130, 135, 140, 145, 150, 155, 160 cm 以後は 3cm ずつ
男子棒高跳	// 260 cm	280 cm から開始し、360cm までは 20 cm ずつ 以後は 10cm ずつ

- ② 1位を決定するバーの上げ下げは、走高跳 2 cm、棒高跳 5 cm とする。

7. 競技用具について

競技用具は棒高跳ポール及びやりの他は、競技場備え付けのものを使用すること。ただし、持参の棒高跳用ポール及びやりは、検定・承認を受けてから使用すること。（検定は競技開始1時間前までにスタート側器具庫で受けておくこと。）

8. ナンバーカードについて

ナンバーカードは、各自登録番号のナンバーカードをユニフォームに付けること。トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードを招集場で競技者係から受け取り、パンツの右側後方につけること。（走高跳、棒高跳に出場する競技者は背部または胸部だけでもよい。）なお、ナンバーカードは各自、関西学生陸上競技連盟のものを持参すること。（腰ナンバーカードは、ゴール後速やかに担当補助員に返却すること。）

9. スパイクシューズについて

スパイクの長さは9 mm 以下とする。ただし、走高跳・やり投は、12mm 以内とし、スパイクの先端の直径はすべて4 mm 以内でなければならない。なお、スパイクの数は11本以内とする。

10. 対抗得点について

各種目の得点は、1位8点、以下8位まで7, 6, 5, 4, 3, 2, 1点とする。「ボーナス得点制」を採用する。（日本新 30 点、日本タイ 25 点、日本学生新 20 点、日本学生タイ 15 点、関西学生新 10 点、関西学生タイ 7 点、大会新 5 点、大会タイ 2 点）ただし、ボーナス得点は予選・決勝を通じて1回のみ与えられるものとする。

11. 開・閉会式について

- ① 開・閉会式の入場行進は行わないので、所定の時刻に本部前に集合すること。
- ② 開・閉会式における服装は、トレーニングウェアとする。

12. その他

- ① 入賞者（1位～3位）は、表彰の招集があれば速やかに本部前に集合すること。
- ② 各自の所持品は、各自の責任において保管すること。

総合優勝制度得点

1位—10点、2位—7点、3位—5点、4位—4点
ただし、同順位の場合は、下位順位の得点との合計を平均する。